

# 八乙女

編集 南山見公民館  
発行

平成5年1月25日発行

No. 45

富山県東砺波郡井波町川原崎  
TEL (0763) 82-5176

新玉の年に幸せ希ひつゝ、

孫子と屠蘇を汲み交はす朝

松田澄子



五領 神明宮

## 年頭所感

J A井波、南山見支所長 小橋 昭夫

明けまして、おめでとうございます。

日頃、農協の各事業に、格別のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本年も、なにとぞよろしくお願い致します。

さて昨今の農業や、農協をとりまく環境は、日々に厳しさを増しています。ガットウルグアイランド農業分野の問題、金融の自由化、相次ぐ公定歩合の引下げ等、大変な時期を迎えております。

このような苦しい環境下の中、昨年組合員各位の暖かいご理解と、ご協力によりまして、前々からの懸案でありました、南山見支所を新築していただきました。心より感謝申し上げます。新しい支所は、現代風に、外はクリーム色二階建、中は一階を事務所と売店を一体型にし、すっきりしたものになっています。二階は会議室で、ワンフロアで広く利用出来る様になっております。

事務所と売店が一体になっていることで、新しくなって初めてご利用された方は、一瞬びっくりされる方もありますし、売店のスペースが前より手狭の為、品物が少ないという方も有ります。

新しくなったことで、前よりも悪くなった所もあり、より良くなった所もございます。悪い所は職員の努力と皆様方のご協力で、少しでも克服し、明るく、暖かく心の通う、支所作りに務めたいと考えています。

組合員各位の、今後益々のご指導と、ご協力をお願い致します。

新年を迎えて



松田啓宏

明けましておめでとうございます。

今年、小学校生活最後の年で、四月からは中学生として、勉強や体育に西のようにばたいて取り組もうと思います。

最近、外国で内乱が起きている国の子ども達が、うえに苦しんだり、住む所がない人々が多くいることがよく報道されているのを見ると、日本人に生まれてきて、本当に良かったと思います。今年、伝記を多く読み、偉人ほどのように困難を乗り越えていったかを、学習したいと思っています。

ピアノでがんばる

沢田亜希

わたしは、今年こそがんばりたいと思うことは、ピアノです。どういふことをがんばりたいかと



いうと、ピアノのひくところをまちがえた時、止まってしまうので、まちがえてもこだわらないで、がんばりたいです。それになめらかにひけるようがんばります。

私の希い

滝田香



昨年は、目上の方に色々なお話をさせていただく機会の多い一年でした。

いままでは、自分のものさしに周りの人をあてはめようとしていたので、腹の立つことが多かったのだと思います。

これからは、相手のことを思いやり、傲り高ぶることなく、素直な気持ちで過ごしていきたいと思っています。

やりとげること



徳成彰彦

ついこの間、成人式をしたように思っていたのですが、もう二十四になるうと

就職してから三年間、精一杯生きてきたつもりでしたが、何かをやりぬいたことが少なかったように思います。

今年、自分の干支なので、いろんなことに挑戦してみ、一年を振り返る時に、今年、これをやりぬいたんだと思えるものが、いくつかできればいいと思います。

素敵な変化を

山本孝夫



新年を迎える度にいつも「今年こそ」と生活の変化を求めるが、変わらぬ自

分がいます。

今年、昨年地元企業に転職し、それにもなって増加した余暇時間をどの様に費やすか、を考えました。一つはスポーツの時間を増やし、自分や家族が健康で朗らかに過ごす家庭を築くことであります。

二つ目は様々な交流の場に多く参加し、学習して教養を深める事です。未完成な自分をもっと素敵に変化する様、生きてゆきたいと思ひます。

感謝の気持で

山崎貴美江



三廻り目の西年を迎えます。この年になって漸く「お蔭様」の意味の深さを

思うようになりました。

人が人として生きてゆくためには多くの方々の、様々な、蔭ながらの力を頂いているものです。けれども、私たちは、余りにも簡単に、そのことを忘れ去ってしまいます。

自分が、自分が、と我を張ったり

どうして自分ばかりが、と恨みがましく思ったりする前に、周囲をゆくり見回してお蔭様を思える自分になりたいと思います。

これからも

山田勝弘



私の生まれた昭和二十年は、日本が世界の第一線から百歩も後退した年でも

あります。

今では、高度成長となしえた平和で物量豊かな時代を迎えたのも、日本国民の頑張りがあったからと思います。

これからも、皆様とともに、地域のためにお役に立つことを願っています。

酉年を迎えて

箭原健二郎

あけましておめでとうございます。激動の'92もあわただしく過ぎ去り、



新しい'93の幕が開けました。

私達の世代をふりかえってみますと、昭和20年終戦。そして、

廃墟と混乱の中で学生時代を経、もはや戦後ではないと言われた昭和31年に社会に身を投じ、その後、日本経済の進展とともに歩み続けてきた世代だと言っても過言ではありません。

また、酉年という年をみてみますと、20年日本に原爆投下、32年ソ連初の人工衛星打上げ、44年アポロ11号月着陸成功、56年スペースシャトル初飛行成功と、まさに、次の時代への変化・変革の節目を告げているかのように思えます。

めざましい経済発展を遂げてきた日本の前途にも、最近暗雲がただよいはじめ、政治・経済・国際社会等あらゆる面で難問に直面しつつありますが、私は、きたるべき21世紀に向け新しい時代のおとずれを信じ、次の世代への良き橋渡しができるよう念じております。

健康と幸せ

林 光子



私は、毎日可愛い孫と一緒に遊んでいます。

上の子は、昨年保育所に行き、

帰りは一緒に歩いて帰ってきます。時には車に乗せていただくこともありますが、二人で仲良く手をつないで帰る道すがら、保育所での出来事を話してくれます。

こうして、歩くことは健康の源であり幸せでもあります。

また、ボケ防止のため、近所の皆さんと、趣味として大正琴を習っています。これも、健康第一に明るく幸せに過ごしたいと願っています。

月日の早さ

山本敏子

子供の時は学校が休みになり遊ぶのでお正月を楽しみにしていました。若い時はささやかな夢と希望で、



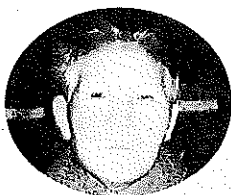
うれしいお正月でした。今では又一つ年を貰うと思うとあまりうれしくありません。それでも

元旦はさすがに今年もみんな元気で一年が送れますようにと手を合わせて祈りました。

数えてみると六回目の酉年です。「歳月は人を待たず」の諺を深く感じました。今年も健康を大切にしたいところをかばいながら社会や家族の一員として小さな分担を果たしたいと思えます。

感謝の日暮し

池田ひさ



明治に生まれ、今年で七回目の千支を迎えます。

昔は人生五十年と言われていましたが、八十四歳まで長生きさせて頂き、有り難いことと、感謝して日暮ししています。

第十五回

八乙女文化祭

十一月十五日、好天に恵まれ「みんなで文化の輪を広げよう」をテーマに、盛大に繰り広げられました。

各団体の活動、作品展示、また家庭菜園で採れた野菜、果実、圃場で採れた穀物等が一堂に、所狭しと並べられ、本当に見事でした。

体育館では、保育園児から老人クラブの人達が、芸能の練習成果を発表されました。また各部会で売店、越冬野菜の即売等も行われ、グラ



ドではマレットゴルフ大会も催されました。この一日、大変有意義で、楽しい日でした。これからも地区の、コミュニケーションの場として、大いに文化の輪の広がりを……。

(武田幸子)



地区スポーツ活動のお知らせ

さる、十一月十四日、第二回ベタンク大会が、そして、十一月二十四日から一週間、第十回ビーチボール大会が開催されました。成績は下記のとおりです。また、第七回富山県ビーチボール大会においても沖BBチームが準優勝の成績をおさめられました。



記

第二回ベタンク大会成績

男子の部 優勝 山本チーム  
女子の部 " 林 チーム

ファミリーの部 岩崎チーム

第十回ビーチボール大会成績

優勝 沖Aチーム  
次勝 沖Gチーム  
参優 里領Bチーム

青少年育成町民会議

家庭のふれあいをテーマに標語の募集をいたしましたところ、一三九点の御応募を頂き、文化祭に展示させて頂きました。

育てよう子どものやる気 親の知恵

悪い芽も良い芽に直す 家庭の和

朝夕の語らい今日の励み、明日への希望

池田澄子

篠原笑子

松井正子

町長を囲んで

「まちづくりの語るつどい」

昨年十一月二十六日  
開催の概要  
を簡単に申  
上げます。

まず町長  
から今年度  
取り組んで  
きた主なる  
事業の経過  
と、翌年度  
の考え等の  
説明があり  
ました。そ  
の中で当地  
区として以  
前から要望  
していた事  
項で、既に  
実施の段階  
または予算  
計上されて  
いるものは、



- ・農道舗装、南山見保育所へ通じる道路拡幅、国山林道新設、防火水槽設置、下水道実施計画等です。
- ・続いて出席者からの質問及び要望事項の主なるものは、
- ・高齢者相互支援推進事業
- ・集落営農推進に対する町の援助
- ・八乙女林道整備、不吹堂への道路
- ・八乙女山、大寺山に登山道の開設

・保育所の土曜日登所の対応について

・公民館より雑庫の増設、正面玄関の改修、カーテンの更新、年間予算の増額等

・その他の要望意見がありました。紙面の都合で掲載できなかったことをお許し下さい。

(蓮田久信)

児童クラブのクリスマス

十二月二十三日、公民館にて児童クラブクリスマス会が開催され、児童と父兄一三〇余名が参加、サンタ



新年の集い



クロスからプレゼントを貰った子供達は喜んで大はしゃぎ、また女子児童の手作りケーキも大へんお見事でした。



一月四日午後三時、恒例の南山見地区「新年の集い」が自治振興会・公民館が共催、公民館大ホールで盛會裡に開催されました。

幸いに、好天候に恵まれ、来賓の清都町長(ほか三名)始め北田町議会議長、ならびに久々にご帰郷の綿貫代議士等がご参会くださいされ、それぞれから、初春のおめでたきお言葉を頂戴し、参会した八十余名の地区町民の皆さんと共に歓談、終始大いににぎわった。

(K・A)

婦人防火クラブ

防火標語入賞者

応募総数九十五の内、当地内より二名の方が入賞されました。

「外出は元栓しめて鍵かけて」

井波町沖一三 高嶋 清子

「火の始末、家族皆で確かめて」

井波町川原崎六五 山崎 鈴江

# ご成人おめでとうございます

戸川里	川連	東	院	南	川
谷原	原代	城	瀨	山	原
板崎	崎寺	四	見	見	崎
領	崎	区	二	二	崎
山池	直	三	区	二	崎
崎留	直	篠	前	田	和
睦美	江	原	川	中	美
岡本	江	正	公	博	美
克己	富	敏	伸	美	美
前川	佐	忍	二	美	美
益啓	子	一	二	美	美
滝田	正	美	二	美	美
佐奈	子	二	二	美	美
江啓	子	子	二	美	美

(昭和四十七年生、二十四名)



直江 正

私が子供の頃、両親と一緒にサイクリングロードの

傍らを歩くと、決まって「お前は知らんやろうけど、昔はここに電車走ってたがいぜ。」という台詞を聞かされました。

加越線のことです。いま井波駅を

成人を迎えるにあたって



井波町成人式が、一月十五日文化センターにて厳粛に行われ、来賓の方々より、一八五名の成人者に温かい祝辞がおくられました。「はたちの主張」に「成人式を迎えるにあたって」と題して、当地区より直江正君が、活発に発表されました。

見て、頭の中で動いている列車を想像することしかできません。今日、成人式を迎えて私はいくつかの権利を得、義務を負わされて、社会的に主体性を求められる存在となりました。

昨日までの私は、変わり行く井波を見つめる存在であったとすれば、今日からの私は、未来の井波の発展に関わっていきける存在になったと言えると思います。

自分が本当にやりたいことは何なのか、いくらかでも井波町の発展に寄与できればと思っています。

そのためには、この町の一日一日の変化を見つめ続けること、それを忘れないことです。

そしていつの日か、親が私に話したように、私も少しの優越感と、たくさんの自尊心をもって、「お前は知らんやろうけど、昔はここに電車走ってたがいぜ。」と井波の歴史について話す時が来ると思います。

## ご寄付

ありがとございます

公民館備品費 二万円

平成四年度婦人部一同様

## 二月の行事予定

二月二十一日(伺) 三世代交流

二月 中旬 公民講座

多数の参加をお待ちします。

## 編集後記

年改まる。相変わらず暗いニュースの続く中、新年早々の皇太子妃内定は一条の光明でした。望みを託そう。

今年はトリ年。変化に富んだ飛躍の年という。「酉年の抱負」にも力強く頼もしい。年末の関係者による館内の一斉清掃により美しくなりました。今後とも一層のご利用を、松飾り過ぎて又光陰矢の如く

虚子

(倉)